

京都市立吳竹総合支援学校

令和5年度 前期学校評価アンケート結果報告

令和5年12月8日

<前期学校評価アンケート結果分析について>

◎実施 令和5年8月下旬～9月上旬

◎方法 アンケートフォームか紙媒体で回答

保護者、教職員は各項目について「実現度」を5段階で、

児童生徒は、各項目について「実現度」を3段階で回答

◎回答率

	保護者(208)	児童生徒(216)	教職員(139)
回答数	106	62	128
回答率	51%	28.7%	92.1%

◎アンケート項目について

今年度の「学校教育目標」、「各学部の教育目標」に沿って作成しています。

学校教育目標

地域社会で、自分らしく生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために、個々の可能性を最大限に伸ばす

アンケート大項目



1. 健やかな身体をつくる
2. 自分なりの方法で意思を表出する
3. 人を大切にし、共に生きる
4. 願いや夢を持って心豊かに生きる
5. 自ら考え、自ら活動する
6. 役割を担い、役に立とうとする
7. ルールやマナーを守って行動する
8. 全体に関すること



【保護者・教職員アンケート 実現度に関する分析結果】

・表では保護者、教職員アンケート結果の「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合(%)を表示しています。項目の「実現度」80%以下の数値をグレーで着色しています。

質問項目	実現度				
	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
① 学校は、児童生徒の健康維持や体力づくりに十分に取り組んでいる。	97.3	95.5	95.6	96.2	93.8
② 学校は、児童生徒の健康観察を丁寧に行い、健康に留意して学校生活を送れるように取り組んでいる。	94.6	100	97.8	97.2	99.2
③ 児童生徒は、自分の心や身体を大切にしようとする姿が育っている。 (「しんどい」ことを伝える、薬を飲む 等)	83.8	77.3	88.9	84	90.6
④ 学校は、児童生徒の健康・安全を守っている。	97.3	100	100	99.1	97.7

大項目「健やかな身体をつくる」に関しては、小項目①②④で実現度の肯定的な回答がおおむね90%を超える結果となりました。引き続き、児童生徒が、教育活動全体を通して、楽しみながら運動に触れる機会を設け、心と体を一体化としてとらえ、学習をしていくとともに、安心・安全に学習できる環境づくりを日々意識して取り組んでいきたいと思います。小項目③については、実現度の肯定的な回答が他の小項目と比較して低い結果となりました。質問の例えが「しんどい」ことを伝えると書かれていることで、障害特性や心身ともに大きく成長する第二次性徴期の心理面の表出の難しさを考えられての結果もあるかと思います。自分の心身の変化に気づき、自分なりの方法で周りの人に伝たり、周りの人にわかってもらえることは、児童生徒の安心につながることだと思います。今後も、安心できる信頼関係を築き、担任や学部の教員だけでなく、スクールカウンセラーの活用や教職員が連携をして、少しでも周りの人に相談できる環境を作るとともに、生徒の心身の変化や、毎日の体調管理に心を配り、保護者や保健室と連携を取りながら、児童生徒が自分の心や身体を大切にしようとする気持ちを育んでいきたいと思います。

質問項目	実現度				
	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑤ 学校は、児童生徒が自分なりの方法で挨拶やコミュニケーションができるように取り組んでいる。	97.3	100	95.6	97.2	96.1
⑥ 児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしたり、コミュニケーションをとったりしている。	97.3	95.5	88.9	93.4	96.1

大項目「自分なりの方法で意思を表出する」に関しては、実現度の肯定的な回答がおおむね95%を超える結果となりました。小項目⑥について、高等部の保護者の実現度の肯定的な回答が他の小項目と比較してやや低い結果となりましたが、学校では、声を掛けられて応えたり、また、児童生徒同士が関わり合ったりする温かな姿がよく見られます。引き続き、他学部や地域との交流を通して、人と関わることの楽しさや大切さを感じながら、社会性やコミュニケーション能力を育んでいきたいと思います。

3. 人を大切にし、共に生きる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑦ 学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる。 (校内・地域 等)		89.1	90.9	93.3	91.5	89.1
⑧ 児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している。 (校内・地域 等)		86.5	86.4	84.4	85.9	92.2
⑨ 学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている。		89.2	100	88.9	91.5	91.4

大項目「人を大切にし、共に生きる」に関しては、実現度の肯定的な回答が80%を超える結果となりました。前期は、ユニットで、学部を超えた教職員や児童生徒との関わりのある学習や、茶道、プロスポーツ選手を招いての体験学習、祇園祭のうちわ配り、居住地校交流など、さまざまな交流および共同学習や体験学習を行ないました。いろいろな人との関わりを通して、ともに学ぶ楽しさを感じ、「面白い」「すごい」といった気づきや新たな発見をし、さらに「やってみたい」「できるようになりたい」と主体的に意欲的な姿が見られました。小項目⑧については、他の項目より実現度の肯定的な回答がやや低くなりましたが、今後も、学校での様子を保護者にお伝えするとともに、豊かな体験の積み重ねを通して、他者との関係を主体的かつ適切に築くことができるよう育んでいきたいと思います。

4. 願いや夢を持って心豊かに生きる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑩ 学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している。		94.6	95.5	95.6	95.3	95.3
⑪ 学校は、児童生徒の目指す姿や進路の実現に向けて、包括支援プランを作成している。		91.2	100	97.8	96.2	93
⑫ 学校は、児童生徒の目指す姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている。		86.5	77.3	86.7	84.9	88.3
⑬ 児童生徒は、安心感や充実感を持って学校生活を送っている。		94.6	86.4	84.4	88.7	96.1

大項目「願いや夢を持って心豊かに生きる」に関しては、小項目⑩⑪は、各学部の保護者、教職員とともに実現度の肯定的な回答が90%から100%という高い結果でした。家庭と学校が願いや目指す姿を共有し合っている実態がうかがえます。今後も継続して取り組んでいきます。小項目⑫⑬は、実現度の肯定的な回答に低い部分が見られました。小項目⑫は、現在、小6中3の進路説明会、福祉施設見学会の実施、ホームページへの福祉施設情報の掲載を行なっていますが進路の実現に向けて、各学部の保護者がより多くの情報発信を望んでおられるといえます。保護者がどのような情報を求められているのかを把握すること、発信内容や機会を考えていく必要があると考えています。また、進路の実現に向けては、進路先の情報だけではなく、日々の学習の積み重ねが、卒業後の生活につながり、大切であると考えます。これからも、各学年や担任等との懇談会を通して、今の学習が将来にどのようにつながっているのか、学習する中で、出来るようになったことや、好きなこと、得意なことを伝えられるようにしていきたいと思います。

小項目⑬は、実現度の肯定的な回答が他の小項目と比べてやや低い結果となりました。生活の幅を広げたり、生活の質を高めたりするには、好きなことや趣味を見つけ、楽しみに思える時間を持つことが大切なことであると考えます。そのためにも日々の学習において、願いや夢につながる得意なこと、好きなことをたくさん見つけられるような取組を行い、「できた」「学校に来て楽しかった」「学校に行きたい」と思えるような授業を実践していきたいと思います。児童生徒の様子や興味関心のある活動を保護者に伝え、学校だけではなく地域でも広げられるように保護者と連携して取り組んでいきたいと思います。

5. 自ら考え、自ら活動する	実現度				
質問項目	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑭ 学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組むような学習や活動を行なっている。	94.6	100	86.7	92.5	95.3
⑮ 児童生徒は、達成感や満足感を持って、学習や活動に取り組んでいる。	91.9	86.4	75.6	84	94.5

大項目「自ら考え、自ら行動する」に関しては、小項目についての実現度の肯定的な回答が小学部、中学部の保護者、教職員が⑭で90%以上⑮で85%以上と高い結果となりましたが、高等部の保護者の実現度の肯定的な回答が75%から80%台を示しています。決して低い結果ではありませんが、卒業後の進路を控えた高等部生徒は、福祉体験実習などがあり、さまざまな課題への挑戦や、将来を見据えた学習が増えしていく中で、これまで培ってきた自信が揺らいだり、不安感等も出てくる時期もあると思います。卒業までの日々の授業において、児童生徒にとって「何のために」「何をするのか」がわかりやすい授業を実践していくとともに、「自分たちでやってみたい」という意欲や「自分たちで取り組んでいる」という感覚が持てるような授業の設定や支援方法を見直していく必要があると考えます。ひとりひとりの児童生徒が自分の力を発揮する中で「できること」や「自分たちの力でやり遂げること」の経験を重ねて、自信をつけ、自らが意欲的に活動しようとする力を育んでいきたいと思います。

6. 役割を担い、役に立とうとする	実現度				
質問項目	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑯ 学校は、児童生徒が役割を担うことでのやりがいを感じて活動できるように取り組んでいる。	94.6	100	88.9	93.4	96.1
⑰ 児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している。	86.5	86.4	86.7	86.8	96.9

大項目「役割を担い、役に立とうとする」に関しては、実現度の肯定的な回答が85%を超える結果となりました。小項目⑯の学校の取組については一定の評価をいただいているが、小項目⑰の「様々な場面で」というところで、肯定的な回答がやや低くなっています。学校では、クラスや学習活動の中で、やりがいを感じ、自ら役割を果たす姿が見られます。今後は、その学校での経験や児童生徒の持っている力を、家庭や地域など様々な場で発揮できるよう、家庭、地域と連携しながら取組の場を広げていきたいと思います。そして、様々な人との関わり合いの中でやり遂げる喜びを感じることで、児童生徒が、多様な他者と協働することの重要性を感じたり、主体的に様々な活動に挑戦しようとしたりする気持ちや、社会に参画する意欲を育んでいきたいと思います。

質問項目	実現度				
	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑯ 学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている。	94.6	90.9	84.4	89.6	97.7
⑰ 児童生徒は、ルールや約束を守って行動しようとする姿が見られる。	83.8	90.9	82.2	84.9	95.3

大項目「ルールやマナーを守って行動する」については実現度の肯定的な回答が80%以上となりましたが、小項目⑯⑰については、小学部保護者では、肯定的な回答の結果に差が見られました。日常の学校生活の中でルールやマナーを守る学習に取り組んでいますが、生活年齢からどんな場面でもルールやマナーを守って行動できるようになるまでには、更に学習の積み重ねが必要であると感じられているのかもしれません。どの学部でも家庭や地域で、多様な場に応じた行動をとるためにには、たくさんの経験や学びが必要であると考えます。学校では、発達段階や生活年齢、健康の状態に応じて、日常生活習慣や遊び、公共の場での活動、地域での体験活動や福祉体験実習等の具体的な場面を通して、人との関わり方、必要なルールやマナー、規範意識を身に着けられるように取り組んでいます。今後も学習を積み重ねていくとともに、家庭や医療・福祉等の関係機関との連携を図りながら多様な場で行動できる力を育んでいきたいと思います。

質問項目	実現度				
	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
㉑ 学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている。	91.9	100	97.8	96.2	97.7
㉒ 学校は、授業を大切にし、熱意を持って児童生徒の指導や支援をしている。	91.9	100	95.6	95.3	97.7
㉓ 学校は、学年だよりや、学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている。	91.9	100	97.8	96.2	97.7

大項目「全体に関すること」については、すべての小項目において、90%から100%の実現度の肯定的な回答となりました。小項目㉑㉒は、学校教育の大前提であります。今後、実現度が100%になることを目指して、あらためて自己を省み、児童生徒の力を最大限に伸ばせるよう、さらに資質能力、専門性の向上に努め指導や支援をしていきたいと思います。また、児童生徒を保護者、学校が一丸となって育んでいくためには、学校の様子を保護者に伝え、共有することが大切です。今後さらに学校だよりやホームページ等を充実させていきたいと思います。

【児童生徒アンケート各項目の実現度について】

*「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の3段階(未記入もあり)

質問項目	そう思う
1. 自分の心や体を大切にしている。	79%
2. しんどくなった時は、先生や家の人に伝えている。	87%
3. 友達と仲良くしている。	87%
4. 学校で、自分のやりたいことに挑戦している。	81%
5. 学校で、当番や係活動に頑張って取り組んでいる。	90%
6. 自分なりの方法で挨拶をしている。	81%
7. ルールや約束を守って行動している。	85%
8. 学校の授業内容は、よくわかる。	80%
9. 自分が「できたこと」や「がんばったこと」を、先生がほめてくれる。	87%
10. 毎日、学校に行くことが楽しい。	71%
11. 手洗いやうがい等に取り組んでいる。	74%

児童生徒アンケートは、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の3段階から選ぶ形で実施しました(未記入あり)。児童生徒の実態に合わせて、本人による記入や、担任による聞き取りで行なっています。(216名の児童生徒のうち62名の回答がありました)

「そう思う」の回答が80%以下の項目の数値にはグレーで着色しました。項目10の「毎日学校に行くことが楽しい」、項目11の「手洗いやうがい等に取り組んでいる」で、「そう思う」の回答が75%以下と他の項目に比べてやや低い結果となりました。項目10については、保護者アンケート4-⑬と同じような結果になっています。保護者アンケート4-⑬の分析で述べましたように、日々の学習において、願いや夢につながる得意なこと、好きなことをたくさん見つけられるような取組を行い、「できた」「学校に来て楽しかった」「学校にいきたい」と思えるような授業を実践していきたいと思います。項目11については、昨年度までの感染症の対策がより緩まっていることからの結果と考えられます。健康で安全に過ごせるように、引き続き、家庭と連携しながら、健康についての学習等取り組んでいきたいと思います。

前期学校評価アンケート 保護者・教職員 実現度比較

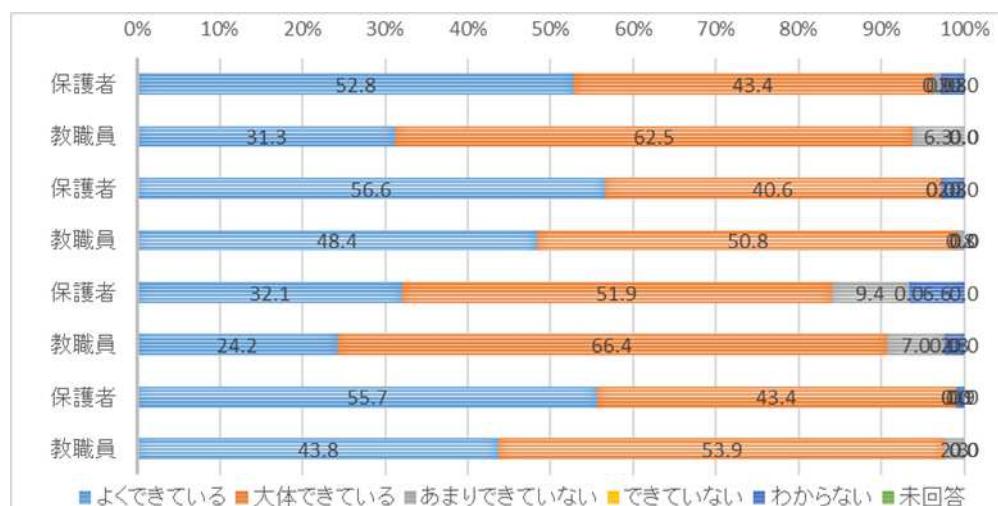
1. 健やかな身体をつくる

①学校は、児童生徒の健康維持や体力づくりに十分に取り組んでいる

②学校は、児童生徒の健康観察を丁寧に行い、健康に留意して学校生活を送れるように取り組んでいる

③児童生徒は、自分の心や身体を大切にしようとする姿が育っている（「しんどい」ことを伝え、薬を飲む等）

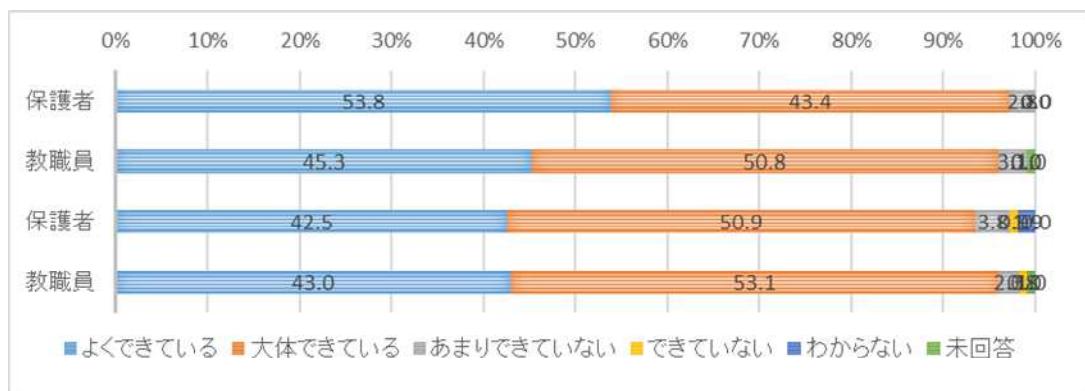
④学校は、児童生徒の健康・安全を守っている



2. 自分なりの方法で意思を表出する

⑤学校は、児童生徒が自分なりの方法で挨拶やコミュニケーションができるように取り組んでいる

⑥児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしたり、コミュニケーションをとったりしている

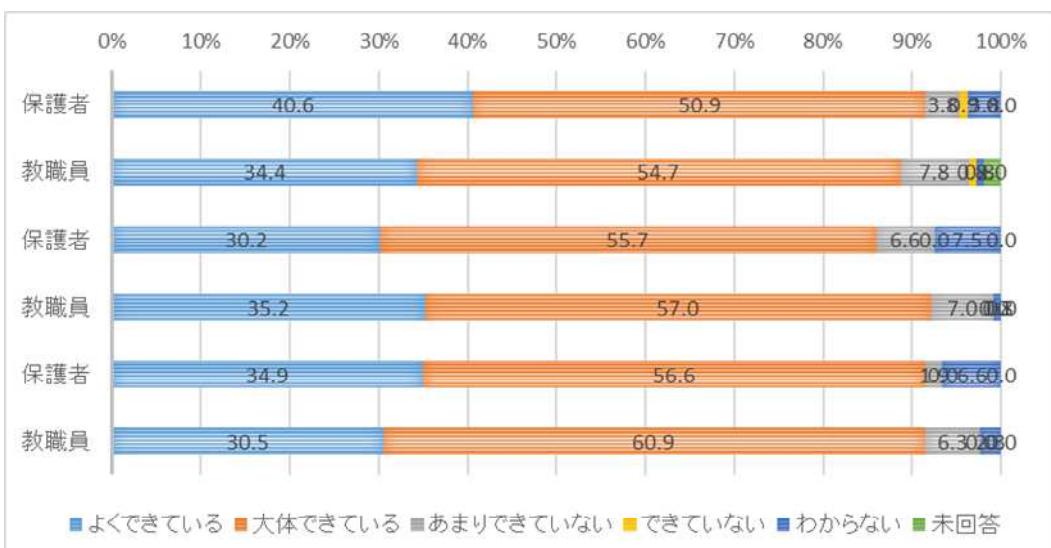


3. 人を大切にし、共に生きる

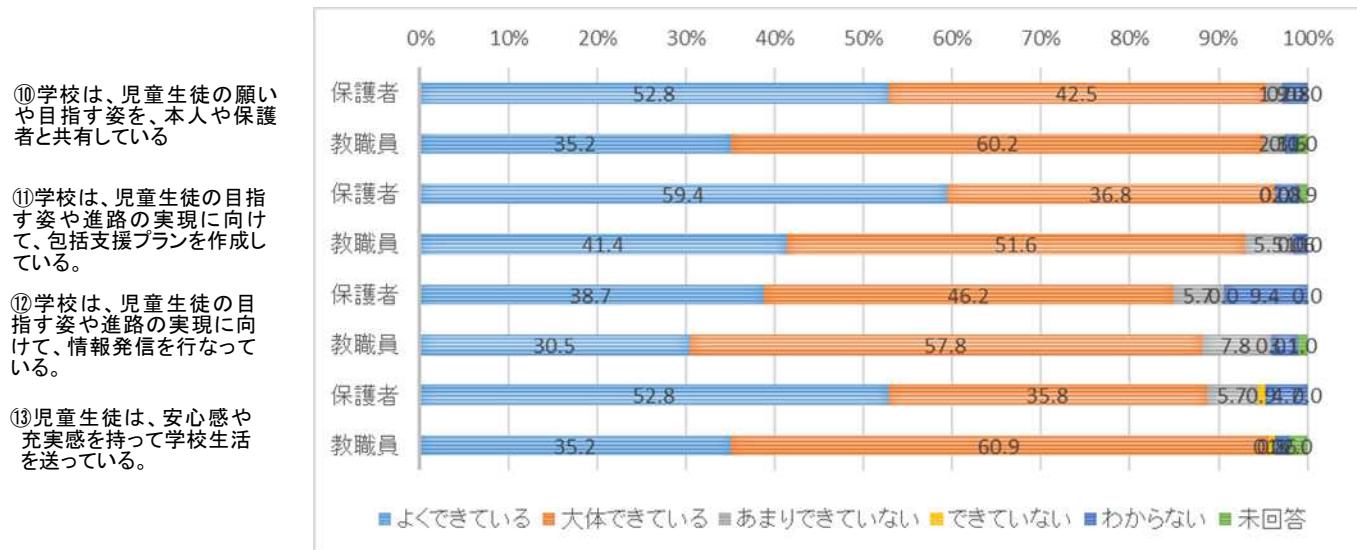
⑦学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる（校内・地域等）

⑧児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している（校内・地域等）

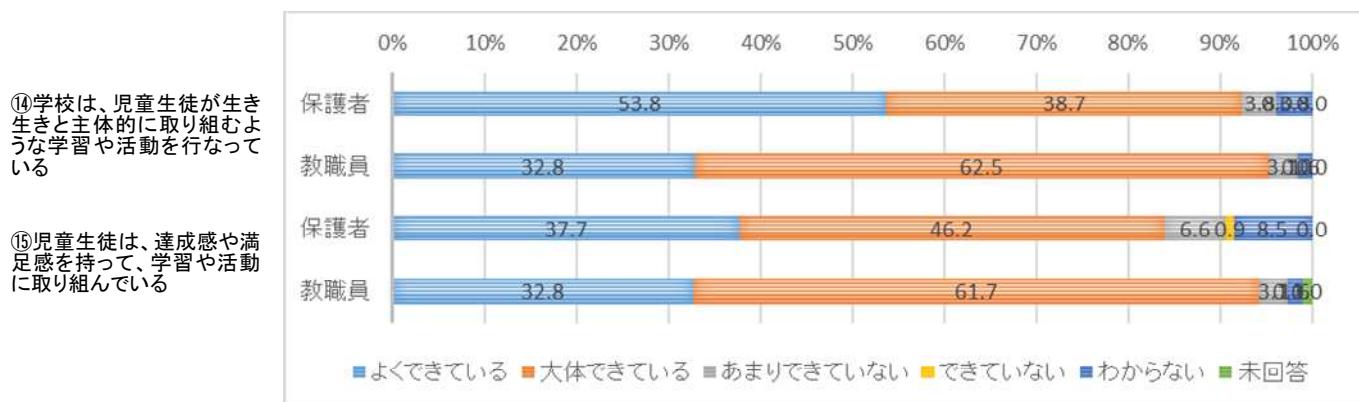
⑨学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている



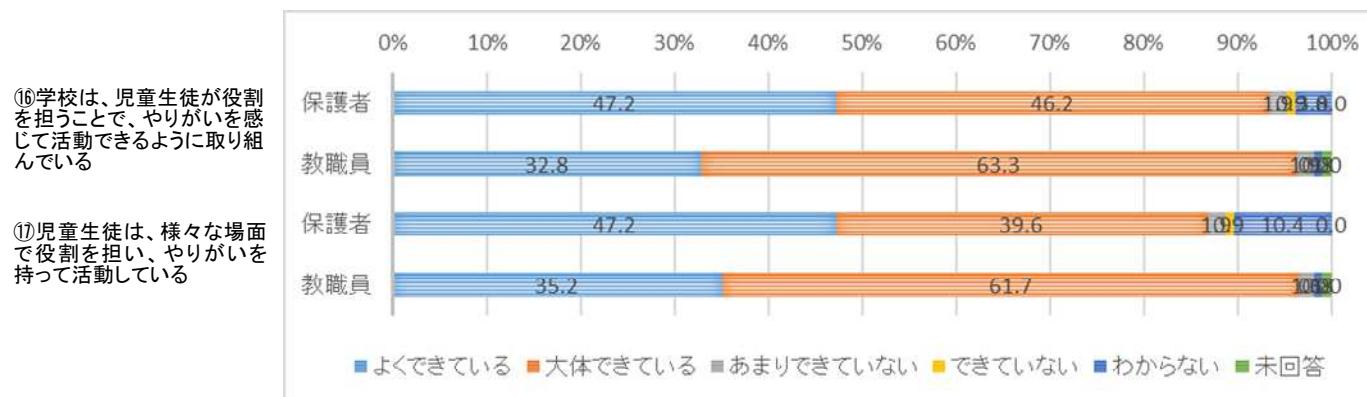
4. 願いや夢を持って、心豊かに生きる



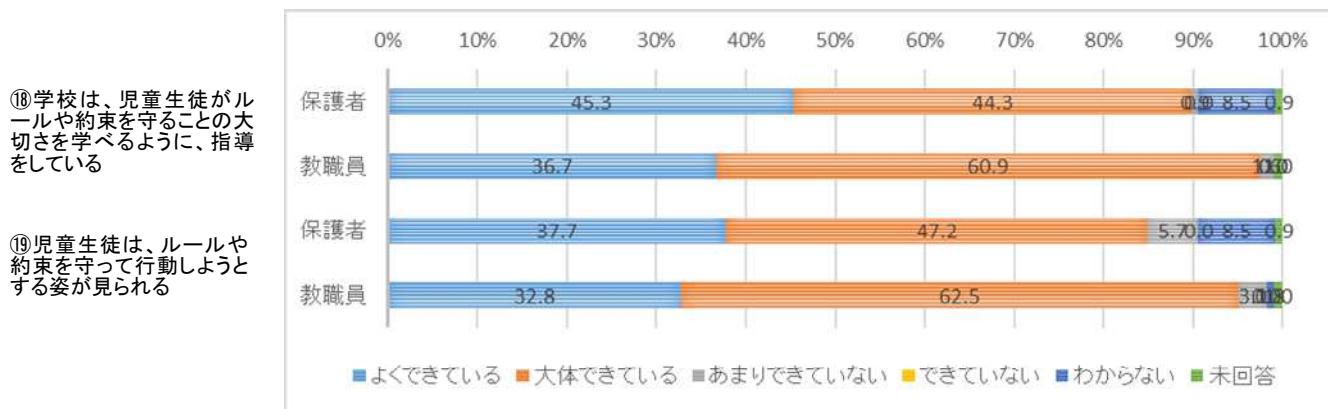
5. 自ら考え、自ら行動する



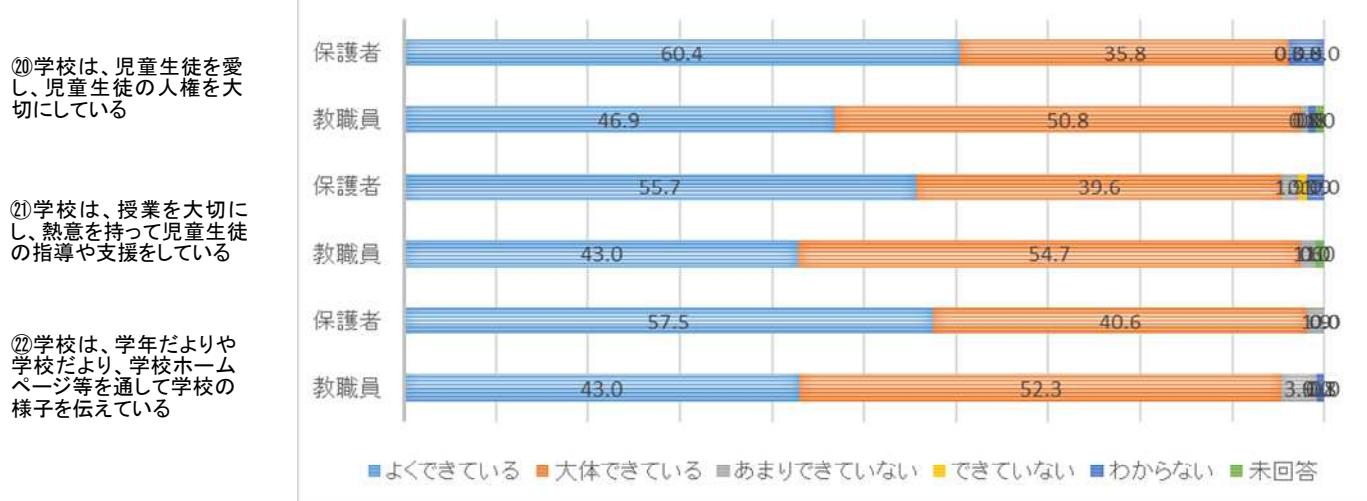
6. 役割を担い、役に立とうとする



7. ルールやマナーを守って行動する



8. 全体に関すること



児童生徒アンケート結果【実現度】

